

（表）

年 月 日

館林市長 様

（申請者）
住 所
氏 名
電話番号

結婚新生活支援補助金交付申請書（新規補助対象者用）

結婚新生活支援補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて次のとおり申請します。

婚姻日			年 月 日
婚姻日における夫婦の年齢			夫 歳、妻 歳
補助対象 経費内訳	住宅取得費用	住宅引渡し年月日	年 月 日
		補助対象期間の支出済額	(A) 円
	住宅賃借費用	契約締結年月日	年 月 日
		賃料 + 共益費	月額 円 × か月 = 円 (年 月 ~ 年 月分) 日割り分 円 (年 月分) 計 円
		敷 金	円
		礼 金	円
		仲介手数料	円
		小 計	(B) 円
	住宅リフォーム費用	契約締結年月日	年 月 日
		補助対象期間の支出済額	(C) 円
	引越費用	家財の運送を行った日	年 月 日
		費用	(D) 円
住宅手当	金額	(E) 円	
合 計 (A + B + C + D - E)		(F) 円	
補助金の申請の対象となる期間		年 月から 年 月まで (か月分)	
補助申請額 (1, 0 0 0 円未満の端数は、切り捨てる。)		(F) の欄の金額と 3 0 万円 (婚姻日における夫婦の年齢がともに 2 9 歳以下である場合は 6 0 万円) を比較していずれか低い方の金額を記入すること。 円	

(裏)

〈誓約・同意欄〉

結婚新生活支援補助金の交付申請に当たり、以下の記載事項について誓約及び同意の上、
□欄に✓を記入及び署名してください。

- ☐ 補助金を受けようとする経費について、他の公的な制度による支援を受けていないことを誓約します。

☐ 他の自治体等によるこの要綱と同様の趣旨の補助金等の交付を受けていないことを誓約します。

☐ 館林市わくわく地方生活実現支援金支給要綱（令和元年館林市告示第102号）に基づく支援金の支給を受けていないことを誓約します。

☐ 離婚届を市区町村に提出し、受理された日から起算して1年以内に、同一夫婦で再度婚姻届を市区町村に提出し、受理された夫婦でないことを誓約します。

☐ 世帯員が館林市暴力団排除条例（平成24年館林市条例第18号）第2条第3号に規定する暴力団員等でないことを誓約します。

☐ 職員が本市の税の収納状況その他必要な情報等の公簿等を確認することに同意します。
（署名）
夫 妻

☐ 年 月 日から無職であることを誓約します。（該当する方のみ署名してください）
（署名）